

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 速報

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1191 2019年7月18日発行

安全性情報

Case 22-2019：脱力、暗色尿および嚥下障害を呈した 65 歳の女性

Case 22-2019: A 65-Year-Old Woman with Weakness, Dark Urine, and Dysphagia

Mason W. Freeman (Massachusetts General Hospital, Boston/USA), ほか

N. Engl. J. Med. 381 (3) 275-283 / (2019. 7. 18)

患者の所見から、statin 関連自己免疫性ミオパチーと診断された。

Statin およびプロトンポンプ阻害剤との同時投与による Clopidogrel の有効性と安全性：韓国の国民健康保険データベースの研究

Effectiveness and Safety of Clopidogrel Co-administered With Statins and Proton Pump Inhibitors: A Korean National Health Insurance Database Study

Mi-Sook Kim (Seoul National University College of Medicine, Seoul/Korea), ほか

Clin. Pharmacol. Ther. 106 (1) 182-194 / (2019. 7)

clopidogrel および statin の投与患者におけるプロトンポンプ阻害剤の同時投与は、血栓リスクの増大に関連していた。

Flucloxacillin による薬物性肝障害：様々なヒト白血球抗原アレルとの関連

Drug-Induced Liver Injury due to Flucloxacillin: Relevance of Multiple Human Leukocyte Antigen Alleles

Paola Nicoletti (Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York/USA), ほか

Clin. Pharmacol. Ther. 106 (1) 245-253 / (2019. 7)

Medicines Safety Update (2019.7.11)

医療専門家は、tocilizumab の投与により急性肝不全、肝炎、黄疸など重篤な薬物性肝障害が認められていると通知を受けている。重篤な肝毒性の発生頻度は稀であると考えられるが、場合によっては治療に肝移植を要する。tocilizumab による治療を受けた患者について、肝臓の有害事象を注意深く監視し、患者が黄疸、暗色尿、そう痒、食欲不振、悪心、嘔吐など肝毒性の徴候や症状を示した場合は、すぐに診察を受けるようアドバイスすべきである。肝毒性の徴候や症状を呈した患者については、直ちに調査する必要がある。tocilizumab の現行の製品情報 (PI) は、

アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT) またはアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST) が正常値上限 (ULN) の 5 倍を超えて上昇した患者における治療を推奨していない。ALT または AST が ULN の 1.5 倍を上回る患者に tocilizumab 治療の開始を検討する場合は、継続的な注意が必要である。豪 TGA は、現在 tocilizumab による肝毒性の特質および発生率に関するデータをレビューしており、PI への変更を推奨する可能性があることなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館／文献複写サービスよりお申込みください。

(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)